

## 新年をむかえ

新しい年を迎えるにあたり、蒲郡市が目指すべき方向を、私見ですが述べさせて頂きます。これは12月議会の一一般質問の中でも述べさせて頂きました。

蒲郡市が現在持っている公共施設や、競艇場の今の収益などを考慮に入れた、あるべき人口規模は13万人程度で、予算規模は一般会計で300億円程度が適正ではないかと思えます。もちろん、多くの従業員を必要とする企業や、整備の進んだ道路や港あつてのことです。

言うまでもなく第一義的には、社会は人によって形成されています。まちの小売店や、飲食店などが生計を立てていけるなら、地域の崩壊も免れるでしょう。

実は、この発想は単純なのです。近隣に同規模の市があり、そこに観光整備された海浜と、競艇場があったら、とお考え下さい。「隣の芝生は青く見える」と言いますが、その庭に木陰や小川があればもつと良いでしょう。もちろん、環境を守り農業、漁業を守りながら、一定の開発や基盤整備はできるでしょう。しかしそれでも、この目標には現状の市域を

維持していただけないのでは到達できないと考えています。

では、なぜこのような目標を持たなければならないのでしょうか。一口に言つて、このままでは市としての体を成さなくなつてしまふ可能性があるからです。つまり、皆さまが期待する普通の市民サービスも受けられない自治体になつてしまふかもしないからです。それも、高負担に於いてです。既にこの兆候は見えはじめています。

コンパクト・シティーを目指せば大丈夫だと言つご意見もあります。これは裏を返せば、中心部にだけ資本投下をし、辺境部はなおざりにす

るといふ、政府の苦し紛れの政策でしかありません。

単純な拡張主義は危険でしょう。しかし、一定の成長を目指さなければ、社会を維持できないことは自明の理です。本来、その成長率は3%から5%が最適であることは言うまでもありません。それを目指せる社会構造になつていくこと、時間があればの話ですが。

### 12月議会の論点

平成19年12月議会の論点として、私は市長のマニフェストを取り上げました。実は、そこに書かれている事業費を単純に足し上げた

だけでも2億4千万円になり、数字のないものを入れれば4億円になりま

す。医療費関連の補助には、多い場合1億円程度の増額も見込まれ、結果として単年度で5億円必要になるかもしれません。当局はこれまで以上に厳しい予算を組まなければなりません。

しかしそれでも、市民の皆さまがこのマニフェストに期待して、金原氏を市長として選択したわけですから、思い切つて実行しなければなりません。

### 三つの検討委員会

この度、今後の蒲郡市の行方を左右する、三つの検討委員会が発足しました。それは、企業用地確保検討委員会、東港活用検討委員会、生命の海科学館見直し検討委員会準備会です。

企業用地確保検討委員会は、企業用地を市内に確保し、開通まちかのR23号を有効に利用しようという目論見を持っています。現在、候補地を選定中ですが、広大な面積を提示できる適地はそれほど多くはありません。もちろん、これのみで考えるわけにはいきません。

企業を誘致するためには、港があ



R23号蒲郡西インターチェンジ予定地付近



東港埋立地から竹島園地を臨む



蒲郡港: すぐにも必要な-11m岸壁は長年の懸案となっている

ることもセールスポイントになりま  
す。そこで蒲郡港に、今より大きな  
貨物船が着岸できる必要が出てきま  
す。つまり、深さが11メートルあ  
る岸壁が必要だということです。  
蒲郡市はマイナス11mパースの  
平成24年竣工を目指しております



追加利益11億円を計上する競艇場

が、R23蒲郡西インターチェンジ  
が平成22年供用開始のため一刻も  
早く、そしてどうしても成し遂げた  
い事業です。加えて、企業用地もそ  
の時点までに確保したいものです。  
東港活用検討委員会は竹島園地西  
にある約8haに及ぶ港湾埋立地の  
活用を検討する委員会です。もちろ  
ん工場用地としてではなく、海を生  
かした観光の拠点となるよう検討さ  
れるでしょう。ただし、具体的な開  
発方法には色々な考えがあるでしょ  
うし、運営方法も考えなければなり  
ません。赤字施設を作るわけにもい  
きません。となれば、ノウハウのあ  
る民間にお願いすることがベストで



医師不足に苦しむ蒲郡市民病院

はないでしょうか。  
生命の海科学館につきましては、  
市長は廃止を含めた検討をしたいと  
言っています。こちらは常に化石が  
問題にされます。化石など、普通に  
生活するには必要なものかもしれ  
ません。残念ながら技術立国日本に  
おいて、基礎科学の重要性はあまり  
認識されていないのも事実です。し  
かし、学術的には世界から注目され  
るほど高い評価をされています。市  
長は「人づくり」を提言されていま  
すが、世界に通用する「人づくり」  
のためにも、科学館は有効に利用し  
なければなりません。私はかねてよ  
り図書館を併設し、総合ライブラリ

とすることを(6月議会一般質問)提案  
させて頂いております。

### 市民病院の苦悩

今議会では医師不足に悩む市民病院  
の苦悩がクローズアップされました。本  
年9月に履行されるべき、経営改革委員  
会の答申を受け入れることもできない  
ほどです。その結果、7億円もの追加繰  
入れをしなければなりません。幸い、競  
艇場事業の利益が追加で11億円入る  
ことによって急場をしのぐことができ  
ます。それでも、来年度以降の経営が保  
障されたわけではありません。

### 12月議会の一般質問要旨

#### 1、市長公約について

安心のまち蒲郡 ア、学校の安全対策  
強化 イ、学校教育ビジョン支援 ウ、特  
別支援教育補助員の配置 エ、医療充実  
オ、市民病院経営改革委員会答申

自然と共生するまち蒲郡 ア、みなと  
オアシスがまごおり イ、生命の海科学館  
について

明るく元気なまち蒲郡 ア、企業用地  
確保検討委員会 イ、蒲郡港の活性化

#### 合併について

#### 2、歳入の見通しについて

市税収入の見通し  
滞納状況